



お寄せいただいた 質問等への回答

スポーツプロモーション コースについて

2021年7月5日～25日までにこのサイトにお寄せいただいた質問等のうち、公開中の動画や資料PDFで十分おこたえできていない事項等について回答させていただきます。

Q

スポーツプロモーションコースでは、静岡市のスポーツイベントなどの補助や運営をしていると聞きましたが、具体的にどのような活動をして、こういったことを学べるのか教えてください。

A

最近では、「しずおか市町対抗駅伝」や「2020東京オリンピック」でのマネジメント業務や、各教員が携わる各種スポーツ教室での運動指導を行っています。そして、そこでの現場経験を学校の講義で振り返ります。例えば、マネジメントの効率性を検証したり、運動指導効果の適切性（測定結果の検証）を確認したりします。

Q

スポーツで地域を活性化させるために、スポーツプロモーションコースでは、実際にどんな事を行なっているのでしょうか。また地域創造学環の学生は静岡県のスポーツの課題をどのようにして発見するのでしょうか。

A

上のQ&Aにも重なりますが、スポーツで地域活性化させるために、スポーツイベントの企画・運営、実技指導等を行っています。また、活性化させる以前に、各地域の現状や特徴を把握するために、市民の体力測定やスポーツ意識・行動調査などを丹念に行っています。また、地域課題の発見については、何よりも、地域へ足を運ぶ現場実習を大切にしています。現場実習については、教員や大学側が準備するものもありますが、学生自らが実習先を開拓しながら、主体的に進めていくものもあります。

Q

どのようにスポーツを研究するのかをもっと詳しく聞きたいです。

A

スポーツ研究には、実際にスポーツをする身体に注目する見方と、スポーツをする前提となる環境（クラブ・施設や社会全体など）に注目する見方があります。そして、前者については実験という手法により研究を進めます。例えば人が走っているときの呼吸機能や筋力の変化を測定する等です。後者については質問紙調査や面接調査などによって、スポーツ環境に対する人の考え方や行動特性等について明らかにします。

Q

このコースでは、スポーツ企業で働きたいと思っている人が多いですか？それともスポーツトレーナーになりたいと思っている人が多いですか？

A

どちらも半数ずつといった印象があります。上のQ&Aに重なりますが、人の身体に興味のある学生は、スポーツトレーナーへの希望が高いようですし、スポーツ環境に興味のある学生は、スポーツ団体・企業で働くことで市民のスポーツ環境の整備に貢献したいと考えているようです。ただし、スポーツに関する仕事は、他の一般的な仕事と比較すると採用枠が多くないのが現実ですので、必ずしも多くの学生がスポーツに関する職業に就けるわけではありません。

Q

普段の授業の中で、実技科目はどんなものがあるのでしょうか？

A

スポーツプロモーションコース独自の実技科目は多くないのですが、当コースの教員は教育学部保健体育教育専修で実技科目を多く開講していますので、当コースの学生は両方の実技科目を分け隔てなく履修している場合は多いです。科目としては、「球技Ⅰ（バスケットボール・バレーボール）」、「球技Ⅱ（ソフトボール・サッカー）」、「陸上」、「器械運動」、「水泳」、「ダンス」があります。また、冬季には集中授業として長野県菅平にて「スキー実習」を実施しています。

Q

運動歴調査書の自己アピールでは、高校生活に限らず、幼い頃に経験したスポーツやそれによって役立った事なども書いていいのでしょうか。

A

構いません。運動歴調査書の自己アピールでは、これまでのスポーツ経験から学び得たこと等を記述して頂ければ何でも結構です。ここでいうスポーツ経験とは、競技経験実績はもちろんのこと、マネージャーや大会運営、審判、スポーツボランティアなど、多彩な活動を含んでいます。